

新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者等の評価結果について（令和6年度期末）

1 支援の内容及び効果等（1）

評価項目

「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）」

- (1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (4) 「Ⅳ 区独自取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

評価	左記の理由
B	・ コロナ禍の影響を受けた活動等を従来に戻していくにあたり、地域の状況に応じた支援が行われ、個別相談への丁寧な対応も相まって、地域が自立的に取組みを推進しようとするモチベーションの維持につながっている。 ・ 全体的に担い手の高齢化が課題であり、次の10年に向け、また、担い手の拡大において、特に、将来のとりまとめ役を担いうる方の育成の必要性にも焦点を当て、地域活動協議会の運営や活動への理解促進を図るため、地域活動や地域コミュニティに関心の薄い方々への広報活動支援の充実が図られている。

2 支援の内容及び効果等（2）

評価項目

- (1) 自由提案による地域支援の支援状況（実績）及び効果等
- (2-1) スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる支援状況（実績）及び効果等
- (2-2) フォロー（バックアップ）体制等にかかる支援状況（実績）及び効果等
- (3) 区のマネジメントに対応した取組にかかる支援状況（実績）及び効果等

評価	左記の理由
B	・ 令和5年度から始めた「地域活動お手伝い体験会」は、今年度も継続的なスタッフとして参加される方を得るなど、新たな担い手の発掘に効果が期待できる。 ・ 「区地域活動協議会と地域貢献活動事業者との交流会」の実施・調整により、地域での各種イベントで事業者との連携も実現することができた。

3 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）の状況及び効果等

評価項目

区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）にかかる支援の状況及び効果等

評価	左記の理由
B	・各地域の自律度の違いに寄り添った支援を行い、クレジットカードによる物品購入や運営委員会での委任状の取扱いをルール化させている。 ・デジタル化の支援として、補助金申請システムの活用に前向きな地域（1 地域）の手続きが進むよう適切な支援がされている。 ・地域担当者意見交換会・情報交換会を開催し、他地域の例を自地域へ反映するなど運営の効率化や活動の活性化につなげている。 ・SNS 等を活用した地域とセンターとの連絡体制を継続させ負担軽減の方策も積極的に進めている。 ・区と定期的な打合せ（概ね 2 週間に 1 回）のほか、随時情報共有を重ねており、区の方針等に沿った支援が行われている。

4 総合評価【全体】

評価	左記の理由
B	・全体を通して、地域課題を把握し、地域の実情に応じた適切な支援ができていた。 ・自主財源の活用、補助金や会計など経理事務、新たな担い手発掘に向けた取組みなど、地域に寄り添った丁寧な支援ができていた。 ・昨年度に新たな取組みとして実施した「お手伝い体験会」に関しては、継続的にスタッフとして従事される方も現れ、地域活動への参加の入口の一つとなって新たな担い手発掘に繋がったことは高く評価できる。

（評価基準）

S：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を大幅に上回っている。

A：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を上回っている。

B：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準に概ね達している。

C：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を下回っている。